研究課題名

「ハイフローセラピー（HFT）の使用実態に関する多施設共同研究」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H27中倫小第５４号）

多施設共同研究実施についてのお知らせ

　沖縄県立中部病院呼吸器内科では、「ハイフローセラピー（HFT）の使用実態に関する多施設共同研究」という多施設共同研究を実施しております。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成２８年１月１５日

【研究課題名】

ハイフローセラピー（HFT）の使用実態に関する多施設共同研究

【研究期間】

２０１５年１月〜２０１５年３月

【調査対象】

上記期間でハイフローセラピーを導入した全ての症例

【研究目的・意義】

HFT(ハイフローセラピー)は最大60L/分までの加温加湿されたガスを広径の鼻カニューラで直接鼻咽頭内に送り込むことのできる機器です。
　本邦でも近年急性呼吸不全を呈する成人患者に使用される頻度が増えてきています。しかしその臨床的なエビデンスは不足しており、また導入指針や中止する基準も定まったものはないため、臨床医やスタッフが現場でそれぞれの判断において用いているのが現状です。これらの現状を踏まえて、多施設による調査を行うことにより、HFTの使用実態を把握することは重要と考えます。
　本試験では、ハイフローセラピー（以下、HFT）の使用実態を調査することを目的とし、多施設においてHFTを用いた症例を後ろ向きに検討することにより、HFTの対象、効果、安全性などを評価します。

【研究の方法】

　上記の研究対象期間にハイフローセラピーを導入した患者さんの診療情報を調査票にして解析します。

調査票の内容は

1) 患者さんの年齢、性別、現疾患、併存疾患

2) ハイフローセラピーの使用目的（急性呼吸不全、抜管後の呼吸不全予防、緩和、加湿目的など）

3) ハイフローセラピーの使用場所（一般病棟、集中治療室、救急外来など）

4) ハイフローセラピー使用時のコードステータス

5) ハイフローセラピー使用日数

6) ハイフローセラピー導入時の設定（流量、酸素濃度）

7) ハイフローセラピー導入前の呼吸管理方法と設定もしくは酸素流量（酸素マスク、非侵襲的換気療法（NPPV）、人工呼吸器など）

8) ハイフローセラピー導入前バイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸数、SpO2）

9) ハイフローセラピー導入前動脈血液ガス（pH, PaCO2, PaO2）

10) ハイフローセラピー導入後（6時間以内）バイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸数、SpO2）

11) ハイフローセラピー導入後（6時間以内）動脈血液ガス（pH, PaCO2, PaO2）

12) 転帰

転帰については生死のみでなく、呼吸管理方法の転帰も記載します

13) 有害事象

ただし、記載項目の一部が欠落していても登録は可能とします

【個人情報の取扱い】

この研究を実施するにあたって、対象となる患者さんの診療情報から住所、名前等が削られ、代わりに新しい符号をつける匿名化を行います。各々の患者さんとこの符号とを結びつける対応表は、当院の研究責任者が厳重に管理します。解析を行う研究者には新しい符号と解析対象となる情報のみが伝えられます。解析している研究者は個人情報がわからず、誰の診療情報を解析しているのかわからない方法を用います。

【研究機関】

　沖縄県立中部病院　呼吸器内科

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院　呼吸器内科　喜舎場　朝雄

電話　098-973-4111　FAX　098-973-2703